

1. 調査報告概要表

評価確定日 平成20年 12月 26日

【評価実施概要】

事業所番号	2271200145
法人名	有限会社 グリーンフォレスト
事業所名	グループホーム 東山
所在地 (電話番号)	御殿場市東田中1447-1 (0550-83-7070)

評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年12月5日

【情報提供票より】(平成20年11月7日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット
職員数	14 人
利用定員数計	9 人
常勤	5 人
非常勤	9 人
常勤換算	8.4 人

(2)建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	63,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(平成20年11月7日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87 歳	最低	81 歳	最高	97 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	東山クリニック、東部病院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

富士山を望む自然豊かな周辺環境の中で、代表者の地域介護福祉活動への熱い思いの基に管理者を含めた職員の理解と実践により、利用者の「○○したい」の実現に向け取り組んでいるホームである。「五竜太鼓演奏会」などでの地域との活発な交流、家族へのきめ細かな報告と信頼関係、ケアカンファレンス～介護計画～見直しによるチームケアの実践、ターミナルケアの実践等により、利用者が自分らしく明るく暮らしていることが窺えるホームである。今後は運営推進会議の有効活用による地域との協力関係作り、職員参加の自己評価実施と課題への取り組み、玄関開錠へのチャレンジなどの取り組みが期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	管理者は外部評価の意義をよく理解しており、評価実施後、改善に向けてケアカンファレンスで職員間で話し合い、運営推進会議の有効活用を除き改善が確認出来た。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は日々の支援状況を管理者が取りまとめ、全職員に回覧、意見を求め取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	ホームの運営状況や行事予定等の話し合いを中心に運営推進会議開催への取り組みは行なわれているが、行政・地域関係者の参加が少なく、家族とホーム関係者中心の開催となり本年は3回の開催であった。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	玄関入り口に「御意見箱」を設置し家族の意見・苦情などの収集を図っている。運営推進会議や家族来訪時には管理者や職員が気軽に話しかけ意見や要望等のコミュニケーションを積極的に図り、出された内容は迅速に対応している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩の際には地域の人々への挨拶や声かけを行い、野菜などを頂いたり、年2回の「五竜太鼓演奏会」は地区への開催案内回覧もあり、地域の人達や家族が参加し地域交流会となっている。また、地域文化祭には利用者の作品を出品したりして地域との交流を図っている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自立と尊厳」の理念をホーム内に掲示し、利用者が安心してゆったりと自分の家として地域の中で馴染みの人達と暮らし、利用者の「○○したい」という気持ちを、一つでも多く実現するホーム独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月のケアカンファレンスにて職員全員で利用者の状況を確認し合い、又、日々の職員の気づきなどを連絡帳に記入し、職員間の共有を図り理念の実現に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩の際には地域の人々への挨拶や声かけを行い、野菜などをいただいたり、年2回の「五竜太鼓演奏会」は地区への開催案内回覧もあり、地域の人達や家族が参加し地域交流会となっている。また、地域文化祭には利用者の作品を出品したりして地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は外部評価の意義をよく理解しており、評価実施後、改善に向けてケアカンファレンスで職員間で話し合い、運営推進会議の有効活用を除き改善が確認出来た。今回の自己評価は日々の支援状況を管理者が取りまとめ、全職員に回覧、意見を求め取り組んでいる。	○	更なる取り組みとして自己評価を全職員が確認し、その内容を、各職員やホームの課題として捉え、職員やホームの改善目標設定などへ繋げることが期待される。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの運営状況や行事予定等の話し合いを中心に運営推進会議開催への取り組みは行なわれているが、行政・地域関係者の参加が少なく、家族とホーム関係者中心の開催となり本年は3回の開催であった。	○	ホーム運営の課題や、非常災害・夜間対応の地域の協力関係作りなど、関係者との話し合いの場として多くのホームが有効に活用している運営推進会議の推進を、行政窓口に応援を求めるなどの取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市による連絡会や会議・研修会などの参加や、利用者や事業所としての相談などを通して関係作りを行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年2回の五竜太鼓演奏会と合わせた家族会の実施や、毎月の利用者の様子を居室担当からの手紙で報告したり、またホームでの行事や外出時の写真などで構成されている「東山かわら版」の発行など定期的に利用者の暮らしぶりが報告されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関入り口に「御意見箱」を設置し家族の意見・苦情などの収集を図っている。運営推進会議や家族来訪時には管理者や職員が気軽に話しかけ意見や要望等のコミュニケーションを積極的に図り、出された内容は職員間で共有し迅速に対応している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の安定化が図られており、他施設との交流もあり職員の異動への配慮が窺える。止むを得ない職員の離職の際は利用者への挨拶に、利用者からの「お世話になりました」の言葉や花束が贈られるなど温かな対応が行なわれている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修への参加促進や、職員の資格取得への支援を行っており資格取得した職員が他の職員へ情報提供して次の職員が資格取得する活動が行なわれている。また、代表者が看護師でありケアカンファレンスでの勉強会も実施されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列他ホームとの交流の他、3ヶ月に一度市主催の連絡会が各ホーム持ちまわりで開催され他ホームを見学しながらの意見交換が行なわれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に家族・利用予定者の見学でホームの雰囲気を感じてもらい、また、新しい利用者と気が合いそうな利用者の隣に席を設けるなど馴染みの関係作りの工夫を行なっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごすように心掛け、利用者の出来ること・出来そうなことを見極め利用者の「○○したい」の実現に向けた支援に徹している。利用者から言葉やことわざなどを学びながら利用者との信頼関係を築く取り組みを行なっている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	面接時に本人・家族と十分なコミュニケーションを取り、その生活歴や要望を確認し、日々の暮らしの中で利用者に向けた言葉掛けを探り出して、希望、意向の更なる把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを基に利用者のその人らしさや馴染みの暮らしの継続を主眼として、どんな支援が必要かを毎月のカンファレンスで意見交換を行い、担当医や家族とも相談しながら介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員間での気付きを記録する連絡帳があり、利用者の変化は全職員で共有され、急な変化にも随時対応している。また、毎月のカンファレンスで利用者の5項目の満足度評価や現況の意見交換を行ない、必要なら見直しが行われ、全体的な見直しは3ヶ月毎に行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院や送迎等必要な支援の他、隣接の系列ディサービスもあり、ドライブしたい利用者がディサービスの送迎車に同乗したり、催し、その他を合同で開催したり、両利用者同士の行き来もあるなど柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療については代表者が看護師資格を持ち、至近距離に協力クリニックがある。夜間、休日も診察が可能で、月一度の定期健診も行い、安心して適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	昨年の外部評価の取り組み課題として、今年から家族に看取りの希望の有無を尋ね、同意書を頂いている。本人、家族は勿論、全職員、かかりつけ医ともターミナルについての話し合いを行い方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「自立と尊厳」をモットーに、出来ることは自分でしてもらい、言葉掛けには、先輩として充分注意を払い、食への知識、技の伝授を願ったり、個人記録は目に付かない所に置き、施錠できる事務所の戸棚に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	温泉好きな人、喫茶店が好きな人など、それぞれの利用者の希望する過ごし方や暮らし方を出来る限り要望に沿って支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑が有り、収穫野菜も加えた献立を利用者と一緒に考え、台所仕事も出来ることを手伝ってもらっている。食事は職員も同じものを一緒に食べ、家庭的な雰囲気の楽しい食事風景が見られ、平均87歳の食欲には感心させられた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は原則として月、火、木、金の午前となっているが、午後の希望があれば入浴でき、入浴日を多くして、週2回は入浴してもらえるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしを見つけ、やれるよう支援している	絵、短歌、習字、民謡など各々の利用者がやりたいことをやってもらえるよう、「たいを見つけよう」という掛け声で役割、楽しみごと、気晴らしを見つけ、やれるよう支援している。通路の壁には素晴らしい千切り絵が見受けられた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、ドライブは日常的に行なわれ、近くに秩父宮記念公園もあり、近隣の人たちの散歩道となっており挨拶や喫茶でのおしゃべりを楽しんでいる。当日は買い物に行く利用者の姿も見られた。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーを取り付け音が鳴るようにしてあるが、帰宅願望の強い利用者が居り、施設前の道路は交通が頻繁なので玄関は施錠されていた。	○	ホーム玄関の開放は利用者の行動や、近隣住民、家族の自由な行き来にも影響するため、職員間の見守りやアイデアを出し合い玄関を開放するチャレンジに期待したい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の監査を毎年1度受け、防災訓練は年2度夜間対応も想定して行なっている。耐震対策では、揺れで転がり落ちそうなものは置かず、日頃から地震時の対処方法の指導を行なっている。	○	非常災害や夜間災害などでは地域との協力体制が求められることから、運営推進会議などを通して地域との協力関係作りが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士による献立で栄養バランスも考えられており、職員は利用者と同じ食卓で食べ、盛り付け量が完食されるよう勧めたり介助している。また、食事量、水分摂取量を見守り記録に残している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共通空間は明るく静かで、居間や廊下には利用者の作品、利用者の若い頃からの写真や、毎月の催事の写真などが飾られている。在宅感溢れる佇まいで、居心地よく過ごせるような工夫がなされていた。</p>		
30	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはベッドと戸棚が配備された他は、利用者の馴染みの品々で囲まれ、壁には家族との写真や自作の作品が飾られ、「我が家」の雰囲気居心地も良さそうに見受けられた。</p>		